

兵庫地方最低賃金審議会

第 686 回審議会資料（意見書等）

令和 8 年 7 月 27 日

兵庫労働局労働基準部賃金室

第 686 回兵庫地方最低賃金審議会

資料（意見書等）目次

	頁番号
資料 1： 特定非営利活動法人福祉ネット星が丘（意見書）	1
資料 2： 関西合同労働組合（意見書）	2
資料 3： 兵庫県パート・ユニオンネットワーク（意見書）	6
資料 4： 兵庫県労働組合総連合（意見書）	8
資料 5： 全国福祉保育労働組合兵庫地方本部（意見書）	9
資料 6： 全日本年金者組合兵庫県本部（意見書）	10
資料 7： 全日本年金者組合兵庫県本部（意見書）	11
資料 8： 全日本年金者組合須磨支部（意見書）	12
資料 9： 東播地区労働組合協議会（意見書）	13
資料 10： JMITU 通信産業本部兵庫支部（意見書）	14
資料 11： JMITU 甲南電機支部（意見書）	15
資料 12： JMITU 日本アスコ支部（意見書）	16
資料 13： 西宮・芦屋地域労働組合総連合（意見書）	17
資料 14： 郵政産業労働者ユニオン灘分会（意見書）	18
資料 15： 郵政産業労働者ユニオン垂水分会（意見書）	19
資料 16： 郵政産業労働者ユニオン須磨北分会（意見書）	20

資料 17：郵政産業労働者ユニオン香寺分会（意見書）	21
資料 18：郵政産業労働者ユニオン高砂分会（意見書）	22
資料 19：郵政産業労働者ユニオン兵庫南支部（意見書）	23
資料 20：郵政産業労働者ユニオン尼崎支部（意見書）	24
資料 21：郵政産業労働者ユニオン兵庫県協議会（意見書）	26
資料 22：郵政ユニオン神戸中央支部（意見書）	28
資料 23：全労連全国一般兵庫県本部（意見書）	29
資料 24：兵庫教職員組合（意見書）	30
資料 25：兵庫県高等学校教職員組合（意見書）	31
資料 26：兵庫県高等学校教職員組合丹有支部氷上特別支援学校分会（意見書）	32
資料 27：兵庫県高等学校教職員組合日高分会（意見書）	33
資料 28：兵庫県高等学校教職員組合津名高校分会（意見書）	34
資料 29：兵庫県高等学校教職員組合兵庫県立北はりま特別支援学校分会（意見書）	35
資料 30：兵庫県高等学校教職員組合豊岡高校分会（意見書）	36
資料 31：兵庫県高等学校教職員組合但馬支部豊聾分会（意見書）	37
資料 32：兵庫県高等学校教職員組合但馬支部浜坂分会（意見書）	38
資料 33：兵庫県高等学校教職員組合但馬支部村岡高校分会（意見書）	39
資料 34：兵庫県高等学校教職員組合但馬支部豊岡総合分会（意見書）	40
資料 35：兵庫県高等学校教職員組合但馬支部出石分会（意見書）	41

資料 36：兵庫県高等学校教職員組合東播支部（意見書）	42
資料 37：兵庫県高等学校教職員組合西阪神支部（意見書）	43
資料 38：兵庫県高等学校教職員組合但馬支部（意見書）	44
資料 39：兵庫県高等学校教職員組合鳴尾高校分会（意見書）	45
資料 40：兵庫県高等学校教職員組合芦屋高校分会（意見書）	46
資料 41：兵庫県高等学校教職員組合芦屋特支分会（意見書）	47
資料 42：兵庫県高等学校教職員組合西宮今津高校分会（意見書）	48
資料 43：兵庫県国家公務員関連労働組合共闘会議（意見書）	49
資料 44：兵庫県労働組合総連合（国民春闘兵庫県共闘委員会）（要請書）	50

2026年7月17日

兵庫地方最低賃金審議会
会 長 山口 隆英 様

所在地 神戸市垂水区星が丘 3-2-23
電 話 078-708-3244
法人名 特定非営利活動法人福祉ネット星が丘
理事長 徳岡 八重子

最賃 1500 円の早期実現と中小事業支援を求める意見書

特定非営利活動法人福祉ネット星が丘は、1995年1月17日の阪神淡路大震災を契機に福祉の狭間で苦しんでおられる方々を、制度のあるなしに関わらず、その方に寄り添い、出来る限りの支援を継続してまいりました。

「食は命」を標榜し、「0歳から100歳を越える方々を、24時間365日たゆまずに、生活丸ごと支援を実践しています。

介護保険サービスでは、①地域密着通所サービス2か所、②訪問介護、③居宅介護支援（休止中）、そして障がい者への自立支援法では、④訪問介護、⑤移動支援、⑥行動支援、自主事業では、⑦お泊りサービス、⑧配食サービス、⑨移動支援サービスなど緩やかに、必要に応じて、柔軟にサポートしています。

24時間を網羅するため32人のスタッフ（内17人が社会保険適応者）が、自由シフトで、保護司などの社会貢献や地域活動・組合活動にも積極的に参加しています。

毎年の最低賃金の改定は、世界の標準からもかなり遅れている実態にあり、最低でも1,500円を超えることは必須であると思っています。しかしながら、事業運営の観点からは介護報酬との兼ね合いがあります。最低賃金の引上げと訪問介護報酬の引下げの流れが一致していない現状があり、現場の悲鳴が高まっています。

2025年10月に改定された兵庫県最低賃金1116円は、法人運営を大きく揺るがしました。日本の最低賃金は、憲法でいう最低限度の生活すら保障されない、国際的には大きく遅れている水準にあります。しかし、介護報酬のベースが減少傾向にあり、諸物価の高騰、光熱水費などの固定費やガソリン代などの昨今の流れは、私たち小規模事業者にとっては命取りと言っても過言ではありません。

労働基準監督署にも「最低賃金を守ることが出来る状況ではありません」と相談しました。法令順守を踏まえて28年間にわたり堪えてきましたが、それが出来ない現実になっています。そこで私たちは窮鼠猫を咬むの対策として労働者の生活を守るためというよりも、法令順守のために週40時間労働を、致し方なく35時間制にしました。このことも結局は人件費の増大につながっています。

このままでは社会保険料も滞納せざるを得ない現状です。厳しい道しかありません。緊急対策が必要です。高齢者や障がいをお持ちの方々の最後の砦として、奮闘努力を積み上げてきました。緊急の財政支援策を国民的課題として実施できますよう切に要請します。



以 上

2026 年 7 月 21 日

兵庫地方最低賃金審議会 御中

最低賃金の大幅引き上げを求める意見書

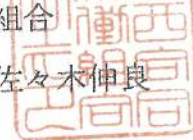
〒652-0021 神戸市長田区梅ヶ香町 2 丁目 5 番 2 号

(078) 652-8847 (FAX 652-8848)

E-mail : hyogounion@k8.dion.ne.jp

関西合同労働組合

執行委員長 佐々木伸良



貴審議会にありましては、この間の、労働者の生活改善のための最低賃金引上げへのご尽力に感謝申し上げます。

貴最低賃金審議会の開催に当たり、当組合は最低賃金を本年度の改定において全国一律 1500 円に引き上げるよう要請し、以下意見を述べます。

1, 昨年、兵庫県の最低賃金は過去最高の 64 円の引き上げが実施され、1116 円となり、全国平均でも 1121 円と 1000 円を超えました。この最低賃金の引き上げが労働者にいくばくかの生活改善をもたらしたことは事実であり、当組合としてもこの点は評価は惜しみません。

しかし、この現行の最低賃金である 1116 円は、憲法 25 条で保障されているはずの「健康で文化的な最低限度の生活を営む」ことが本当にできる額と言えるでしょうか。時間給 1116 円で、労働基準法の最低基準である一日 8 時間、年間 260 日働いたとしても年収は 232 万 1280 円にしかありません。「結婚の壁」「2 人世帯のリビングウェイジ」と言われる年収 300 万円にはるかに届きません。



ワーキングプア（「働いても豊かになれない、頑張っても報われない、働く貧困層」・年収 200 万円以下）の人口は、男性 280 万人（9.8%）、女性 762 万人（35.5%）、計 1142 万人（2022 年国税庁調査）と恐るべき数値です。その未婚率は 7 割と言います。その多くは「パラサイトシングル」（「パラサイト＝「寄生虫！」のこと・親元で暮らす者」）とされています。結婚相談所によると未婚女性は、結婚相手に「年収 500 万円以上を希望」する人が一番多いとの調査結果です。現実には年収 500 万円以上の人は、20 代未婚男性では 2.33%、30 代未婚男性でも 7.8%です。あまりにも悲しいミスマッチです。日本社会はこんなに生きづらい低賃金社会となっています。最低賃金周辺に 1500～2000 万人近くの労働者が膨大に沈潜しているのです。全体としても長い間実質賃金が低下しています。

このことを当組合が「最低賃金を今すぐ 1500 円に」と要求する根拠として最初にあげておきたいと思います。

2, 高市早苗首相は 6 月 25 日最低賃金の全国平均 1500 円の達成に関して「遅くとも 2030 年代前半のできる限り早期に」と表明し、前石破政権が 2025 年 6 月に閣議決定した「2020 年代に全国平均 1500 円」という目標をキャンセルしました。この目標を達成するにも、毎年「64 円（昨年実績）」を上回る最低賃金の値上げをしなくては実現おぼつかぬことは明らかです。

高市政権は、他方で 4 月 7 日成立した 2026 年度予算で、対前年比 9.4%増の 10 兆 6000 億円もの軍事費を計上しました。正に異常事態であり、私たち労働者、市民の生活など全く顧みない暴挙であると言わざるを得ません。この莫大な軍事予算を、中小零細企業の支援に廻せば、今すぐに最低賃金 1500 円は充分実現可能です。戦争のための軍備増強か、物価高騰に苦しむ労働者の生活の底上げか、どちらが優先されるのかは論争の余地などないものと考えます。

3, 2022 年 2 月に始まったロシアによるウクライナ侵攻による石油、天然ガス

等の供給不足、価格上昇を原因とした生活必需品の物価高騰に全く歯止めがかかっていません。厚生労働省「国民生活基礎調査」では生活が「苦しい」と回答した世帯は 55.4%、中でも「大変苦しい」と回答した世帯が 23.2%と実に 4 分の 1 近くに上っています。実質賃金は 4 年連続のマイナス、この統計は春闘の賃上げ約 5%を加味した数字であり、民間労働者の 4 割に達する年収 300 万円以下で働く労働者、賃上げすら行われたい非正規雇用労働者の生活破壊は一体どれ程のものでしょうか。

4、当組合は本年 3 月兵庫労働局に対し、最低賃金の再改定を申し入れ、意見交換会を行いました。この申し入れ自体は「これまで一年の内に再改定の諮問をしたことがない」「再改定が必要かどうかは地方労働局のみでの判断では難しい」との理由で却下されましたが、その際、兵庫労働局側の回答に「最低賃金額の決定にあたっては消費者物価指数のみならず労働者の生計費、賃金、企業の支払い能力のデータ三要素を総合的に勘案する」とありました。現在の状況において最重要の要素は「労働者の生計費」であることは明らかです。

財務省「法人企業統計調査」によると、2024 年度末時点での日本企業の内部留保の金額は 637 兆円と空前の規模に達しています。このお金は間違いなく労働者の汗の結晶と言えます。労働者が働くことによってしか企業は利益を得ることはできません。過労死するほど労働者を酷使し、大企業が莫大な利益を上げ、上位 1%の大金持ちが社会の富の半分近くを占有している中、日本の貧困率は 15%を超え、子どもの 9 人に 1 人が 3 食食べられないような貧困に置かれている現状があります。生活費を切り詰め、働いても働いても生活が苦しい。これが現在の労働者世帯の置かれている現状を否定できるでしょうか。

5、もうこのような政治、経済のあり方は終わりにしなければなりません。繰り返しになりますが、今緊急に必要なのは賃金の底上げです。そしてそれは生活保護費、年金支給額の引き上げに繋がり、貧困を解消することに確実に繋がって行くものと思います。財源問題は、大企業の法人税（累進課税制度）の税

課税

率を過去に戻すか、大企業の内部留保の1%風するだけで、中小零細への補助制度の財源としても（支払い能力の問題解決に）十分に確保できるはずです。

6, さらに地域格差の問題があります。食料品、飲料など生活必需品の価格に地方と都市部での格差などありません。ただ住居費、家賃には確かに格差が存在します。しかし、公共交通が発達しており安価に移動が可能であり、生活必需品の購入等にも便利な都市部に比べ、地方では自動車が必需品です、これの維持費、保険、税金、燃料代等を考慮すれば、地方と都市部に生活費の格差はほぼあり得ない、というのが最近の統計、識者の意見では定説になっています。

最低賃金は全国一律とすべきものと考えます。

兵庫地方最低賃金審議会委員のみなさまにおかれましては、本年の最低賃金決定の審議において「今すぐ最低賃金を全国一律 1500 円に」の実現のために、厚労省および政府への実現に向けた提言の作成含め、「先進国の最貧国」の汚名を返上すべく、喧々諤々の議論と最低賃金大幅値上げ実現に向けた努力・邁進していただきますよう切に訴えるものです。

以上

2026年 7月21日

兵庫地方最低賃金審議会

会 長 山 口 隆 英 様

兵庫県パート・ユニオンネットワーク

代表委員 塚 原 久 雄

同 大 岡 久 典

同 山 本 三千子

神戸市中央区古湊通 1-2-5 DAIEI ビル 3 F

TEL078-382-2116/FAX078-382-2124

(担当：事務局長 森 口 知 子)

最低賃金改正決定に係る意見について

私たち兵庫県パート・ユニオンネットワークは、1991年、「パート110番」活動に取り組む兵庫県下の地区労、誰でも1人でも入れるユニオン、そして自治体の臨時・非常勤職員や嘱託職員らでつくる自治労兵庫県本部臨時・非常勤職員等評議会で結成された労働団体で、30年以上にわたって非正規労働者の地位と権利の向上のために活動を行っています。

2026年度の兵庫県最低賃金改定にあたって、「兵庫労働局一般公示第5号」に基づき下記のとおり意見表明します。

記

1. 最低賃金をいまずぐ1500円に引き上げること

2. 全国一律最低賃金にすること

今春闘では、「ひょうご非正規春闘実行委員会」を立ち上げ、私たち兵庫県パートユニオンネットワークも実行委員会のメンバーとして取り組みをすすめました。

2月23日にはJR元町駅周辺で、「非正規春闘」パートアクションを実施し、「最低賃金1,500円は必要か？」を問うシール投票を行いました。1時間ほどで259人が投票され、結果は242人が必要との回答でした。必要ないと答えた人は13人だけでした。93%の人が「最低賃金を1,500円に引き上げてほしい」と願っているということです。

4年に及ぶ物価高騰の中、この7月、8月、9月と物価が上がる品目がどんどん増えていくなされています。物価高騰は続き、私たちの生活は圧迫され続けています。

国民すべてが、憲法で定められている「健康で文化的な最低限度の生活」を送るためには、全国どこでも時給1,500円以上が必要であることを明らかです。

貴審議会におかれましては、意見書に述べています私たち兵庫県パート・ユニオンネットワークの組合員であり、「正規労働者として働いていても生活は苦しい」という切実な実態をお聞きいただき、働く者の生の声を真摯に受け止め、今年度において上記2項目が実現するよう審議して下さることをお願いいたします。

労働組合武庫川ユニオン 大塚 健太郎

私は三田のテクノパークで、上下水道管の継ぎ手などの部品組立や製造する仕事をしています。正社員で勤続8年、40歳になります。基本給148,000円、勤続手当20,000円、職務手当45,000円の213,730円が私の毎月の賃金です。また、一応ボーナスはありますが、1回10万円ほどしかなく、あまりにも給料が安いことから、この度、労働組合武庫川ユニオンに加入して、賃上げを含めた労働条件の改善を求めて交渉を行うこととなりました。要求書では、6万円の賃上げを求めています。もし要求どおり実現すれば総支給額が27万円になります。いまの賃金水準で社会保険料が毎月33,297円天引きされますから、毎月の手取りは180,433円。これが27万円になると社会保険料は43,378円へ1万円ほど引きあがりますが、手取りは5万円増えることになるのです。正直、今の収入だけでは生活ができないので、アルバイトもしています。だから、結婚もできません。若い人もなかなか続かない。会社としても人が続かなければ会社としての成長もありません。

厚生労働省のホームページに最低賃金違反かどうかを調べる計算式がアップされていたので、私のケースで計算してみました。会社は、週休2日制で祝日と年末年始8日間が休みですので、今年の年間労働日数は238日となります。基本的には残業がありませんので、私の時間単価は1,347円。兵庫県の最低賃金との差はわずか231円です。正社員であっても、労働組合がなければ最低賃金とほとんど差がないのだということをあらためて知りました。

圧倒的多くの人は労働組合に入っていません。だからこそ、最低賃金の引き上げは、社会全体の底上げをしていくうえで、非常に大事だと思います。

また、今年2月のイラン戦争を前後して、食料品だけでなく、洗剤やごみ袋、電気代など、生活全般にわたって値上がりが続いていて、本当にカツカツの生活になっています。ぜひ、最低賃金を全国どこでもいますぐ1500円にして下さい。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月2/日

(団体名) 兵庫県労働組合総連合
(代表者) 議長 成山 太志



最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月2/日

(団体名) 全国福祉保育労働組合 兵庫地方本部

(代表者) 竹内 琢磨



最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月21日

(団体名) 全日本年金者組合兵庫県本部
(代表者) 執行委員長 関根 敏 克



最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月15日

(団体名) 全日本年金者組合 兵庫県本部
(代表者) 女性部長 賀川純子

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月21日

(団体名)

(代表者)

全日中労組 兵庫支部
支部長 和田邦夫

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

趣 旨

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

項 目

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月10日

(団体名) 東播地区労働組合協議会
(代表者) 議長 岡本匡史

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月24日
〒650-0025 神戸市中央区相生町4丁目4番6号
(広国ビル2F)

(団体名) JMITU 通信産業本部 兵庫支部
(代表者) TEL (078) 341-2460 FAX (078) 341-2112
執行委員長 増田 二郎
最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上

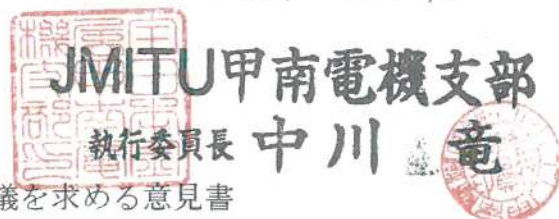


兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月 / 7日

(団体名)

(代表者)



最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月12日

(団体名) JMIT日本アスコ支部
(代表者) 足田太輔



最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年7月21日

(団体名) 西宮・芦屋地域労働組合総連合
(代表者) 議長 豊島 吉博

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月15日

(団体名) 郵政労働者ユニオン 神戸分会
(代表者) 船山 良太郎

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月12日

(団体名)
(代表者)

郵政産業労働者ユニオン
兵庫分会
大澤 靖志

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月 12日

(団体名) 郵政産業労働者ユニオン 須磨北
(代表者) 高瀬光司 分会

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月12日

(団体名) 郵政産業労働者ユニオン組合
(代表者) 会長 高橋 安雄

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月12日

(団体名)
(代表者)

郵政産業労働者ユニオン
分会長 酒井一樹

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

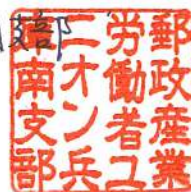
以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月 12日

(団体名) 郵政産業労働者におむ兵庫南
(代表者) 板敷 浩史



最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



2026年7月17日

兵庫地方最低賃金審議会 御中

郵政産業労働者ユニオン尼崎支部

支部長 桐本 守

(住所・連絡先) 兵庫県尼崎市昭和通2-11-1



兵庫県最低賃金の改定決定に係る意見書

- 1、兵庫県最低賃金は、時給1700円を目指し、大幅に引き上げること。
- 2、地域別最低賃金の地域間格差をなくし、全国一律制に改正すること。
- 3、地域別最低賃金は10月1日発効とすること。

上記の意見に関し理由を述べます。

- 1、長引く物価高騰で、私たちの生活は圧迫され続けています。全国消費者物価指数は2021年9月以降57か月連続でプラスとなり、直近5月も前年同月比は1.5%上昇し、生活はより厳しさを増しています。そしてこの物価高騰の影響はとりわけ非正規雇用で働く人たちに大きく及んでいます。

私たちの働く日本郵政グループ各社は、非正規雇用の大部分を占める「時給制契約社員」の基本給を地域別最低賃金に連動させています。しかし春闘時の賃金交渉において会社は地域別最低賃金によって時給を引き上げているとして、2007年の民営化以降賃上げ要求に対してゼロ回答を続けています。結果として最低賃金の改定は、私たちにとって大変大きな意味を持ちます。

兵庫県の郵政の時給制契約社員の基本給は、最低賃金1116円（端数繰り上げ）プラス20円で1140円です。個人別評価により6段階の資格給が加算されますが、最高の評価だとしても、月収は約23万円にしかありません。様々な範囲で工夫や節約をしていますが、中東情勢による値上げが加わり、ますます物価高騰の波が押し寄せることが予想され、切り詰めるだけ切り詰めても生活に余裕はありません。

兵庫県の最低賃金1116円では、生活の安定を得ることはできません。政府は前政権では2020年代に時給1500円を目指すとしていましたが、現政権では目標時期を2030年代前半と大きく後退させました。これでは生活の苦しさは全く解消されません。

兵庫地方最低賃金審議会は、1500円を超え今すぐ1700円を目指し物価高騰分を上回る大幅な引き上げ改定をすべきと考えます。

また、想定される以上の物価上昇が起きた場合には、年度途中といえども最低賃金法第12条に基づき、兵庫地方最低賃金審議会は再改定を協議すべきです。



2、2025年の地域別最低賃金の地域間格差は最大203円です。この都市部と地方の格差は、賃金だけでなく人口流出問題や環境問題でもあります。昨年の改定では最大で熊本県が82円引上げを行うなど全国で39道府県が「目安額」を上回りました。これは賃金格差により地方から都市部への人口流出や労働力不足などで地域が持たないとの危機感の表れです。

郵便局で働く私たちは全国で同じ仕事をしていますが、県境が近いと橋を渡り、電車で一駅先に行けば基本給が違うため、より時給の高い郵便局に人が集まります。そのため時給の低い郵便局では「募集しても応募がない」と人手不足に拍車がかかっています。

全労連が取り組んできた「最低生計費試算調査」によると、人間らしい生活に必要な生計費は時間額で1900円以上（月150時間）必要との結果が出ています。標準生計費だけではなく最低生計費試算調査も使い、生計費に見合った最低賃金に改定すべきです。

兵庫地方最低賃金審議会は、地域間格差をなくすべく、今年の審議において格差をなくすためにも全国一律制への改定を強く求めます。

3、昨年の改定で目安額が上回りましたが、発効日が遅れ最大で半年遅れた地域が存在しました。発効日を遅らせることは賃上げ効果を低くし、新たな格差につながり、地方で働く労働者にとってマイナスにしかならなりません。発効日は10月1日とすることを強く要請します。

以上

2026年7月17日

兵庫地方最低賃金審議会 御中

郵政産業労働者ユニオン兵庫県協議会

議長 青 木 昌

(住所・連絡先) 兵庫県神戸市中央区栄町通6-2-1



兵庫県最低賃金の改定決定に係る意見書

- 1、兵庫県最低賃金は、時給1700円を目指し、大幅に引き上げること。
- 2、地域別最低賃金の地域間格差をなくし、全国一律制に改正すること。
- 3、地域別最低賃金は10月1日発効とすること。

上記の意見に関し理由を述べます。

- 1、長引く物価高騰で、私たちの生活は圧迫され続けています。全国消費者物価指数は2021年9月以降57か月連続でプラスとなり、直近5月も前年同月比は1.5%上昇し、生活はより厳しさを増しています。そしてこの物価高騰の影響はとりわけ非正規雇用で働く人たちに大きく及んでいます。

私たちの働く日本郵政グループ各社は、非正規雇用の大部分を占める「時給制契約社員」の基本給を地域別最低賃金に連動させています。しかし春闘時の賃金交渉において会社は地域別最低賃金によって時給を引き上げているとして、2007年の民営化以降賃上げ要求に対してゼロ回答を続けています。結果として最低賃金の改定は、私たちにとって大変大きな意味を持ちます。

兵庫県の郵政の時給制契約社員の基本給は、最低賃金1116円（端数繰り上げ）プラス20円で1140円です。個人別評価により6段階の資格給が加算されますが、最高の評価だとしても、月収は約23万円にしかありません。様々な範囲で工夫や節約をしていますが、中東情勢による値上げが加わり、ますます物価高騰の波が押し寄せることが予想され、切り詰めるだけ切り詰めても生活に余裕はありません。

兵庫県の最低賃金1116円では、生活の安定を得ることはできません。政府は前政権では2020年代に時給1500円を目指すとしていましたが、現政権では目標時期を2030年代前半と大きく後退させました。これでは生活の苦しさは全く解消されません。

兵庫地方最低賃金審議会は、1500円を超え今すぐ1700円を目指し物価高騰分を上回る大幅な引き上げ改定をすべきと考えます。

また、想定される以上の物価上昇が起きた場合には、年度途中といえども最低賃金法第12条に基づき、兵庫地方最低賃金審議会は再改定を協議すべきです。



2、2025年の地域別最低賃金の地域間格差は最大203円です。この都市部と地方の格差は、賃金だけでなく人口流出問題や環境問題でもあります。昨年の改定では最大で熊本県が82円引上げを行うなど全国で39道府県が「目安額」を上回りました。これは賃金格差により地方から都市部への人口流出や労働力不足などで地域が持たないとの危機感の表れです。

郵便局で働く私たちは全国で同じ仕事をしていますが、県境が近いと橋を渡り、電車で一駅先に行けば基本給が違うため、より時給の高い郵便局に人が集まります。そのため時給の低い郵便局では「募集しても応募がない」と人手不足に拍車がかかっています。

全労連が取り組んできた「最低生計費試算調査」によると、人間らしい生活に必要な生計費は時間額で1900円以上（月150時間）必要との結果が出ています。標準生計費だけではなく最低生計費試算調査も使い、生計費に見合った最低賃金に改定すべきです。

兵庫地方最低賃金審議会は、地域間格差をなくすべく、今年の審議において格差をなくすためにも全国一律制への改定を強く求めます。

3、昨年の改定で目安額が上回りましたが、発効日が遅れ最大で半年遅れた地域が存在しました。発効日を遅らせることは賃上げ効果を低くし、新たな格差につながり、地方で働く労働者にとってマイナスにしかならなりません。発効日は10月1日とすることを強く要請します。

以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月 11日

(団体名) 郵政ユニオン 神戸中央支部
(代表者) 木岡 道雄

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

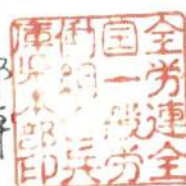
以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月10日

(団体名) 全労連 全国一般兵庫集本部
(代表者) 執行委員長 横田 昌博



最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らすために月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月7日

(団体名) **兵庫教職員組合**
(代表者) **執行委員長 三上達夫**

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月 9日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合
(代表者) 谷口 春夫



最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月17日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合
丹有支部 氷上特別支援学校分会
(代表者) 森田 直人

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月17日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合 日高分会
(代表者) 分会長 高附 永吉

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月17日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合津名高校分会
(代表者) 今若 克哉

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月17日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合
兵庫県立北はりま特別支援学校分会
(代表者) 谷川 毅

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月17日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合 豊岡高校分会
(代表者) 分会長 一 柳 昌 孝

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月14日

兵庫県高等学校教職員組合但馬支部 豊髙 分会
(代表者) 諏訪 淑子

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月 14日

兵庫県高等学校教職員組合但馬支部 浜坂 分会
(代表者) 城下幸穂

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月 14日

兵庫県高等学校教職員組合但馬支部 村岡高校 分会
(代表者) 田邊正和

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月14日

兵庫県高等学校教職員組合但馬支部 豊田総会
(代表者) 南田 昌子

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月 14日

兵庫県高等学校教職員組合但馬支部 出石 分会
(代表者) 綿中義人

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生活費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月14日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合事務部
(代表者) 支部長 岡本匡 印

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年7月21日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合西阪神支部
(代表者) 支部長 福住 宏之

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 7月14日

兵庫県高等学校教職員組合但馬支部
(代表者) 支部長 西村 健次

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年7月21日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合鳴尾高校分会
(代表者) 辻道 真理子

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年7月21日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合芦屋高校分会
(代表者) 田中 崇由希

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年7月21日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合芦屋特支分会
(代表者) 中村 公彦

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年7月21日

(団体名) 兵庫県高等学校教職員組合西宮今津高校分会
(代表者) 相澤 広喜

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - ・ 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - ・ キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - ・ 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - ・ 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。



以上

兵庫労働局長 殿
兵庫労働局賃金室長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

2026年 6月19日

(団体名) 兵庫県国家公務員関連労働組合共闘会議
(代表者) 議長 河西 守行

最低賃金の大幅引上げと開かれた審議を求める意見書

● 趣 旨 ●

私たちは、7時間働けば人間らしい生活ができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年度の兵庫県最低賃金は時給1,116円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額25万円以上、時給換算で1,700円以上が必要です。

また、物価高騰に賃金が追いつかず、実質賃金のマイナスが続いていること、最低賃金近傍労働者の生活が厳しいこと、健康で文化的な生活を営むために必要な水準に到達していないことが社会的に問題となっています。

一方で、中小企業・小規模事業者にとっても、原材料費、エネルギーコスト、人件費の上昇が重くのしかかっており、最低賃金の引き上げを実現するためには、直接的かつ継続的な支援が不可欠です。兵庫地方最低賃金審議会自身も、価格転嫁対策の強化、業務改善助成金の拡充、賃上げ支援助成金の充実、公定価格分野への支援などを政府に強く要望しています。

以上を踏まえ、下記の事項を強く求めます。

■ 項 目 ■

1. 兵庫県最低賃金を直ちに時給1,700円へ引き上げること。
2. 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制度の実現に向けて国に上申すること。
3. 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への直接支援を抜本的に拡充すること。
 - 業務改善助成金について、対象要件の緩和、支給額の引き上げ、申請手続きの簡素化を行い、すべての中小零細事業者が活用できる制度とすること。
 - キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金、人材確保等支援助成金など、賃上げを支援する各種制度を大幅に拡充すること。
 - 看護、介護、保育、福祉など、価格転嫁が困難な分野については、公定価格や委託費の見直しを含めた特別な支援策を講じること。
 - 社会保険料の企業負担軽減、消費税負担の軽減、下請取引適正化など、中小企業が賃上げしやすい環境整備を進めること。
4. より開かれた審議会とするため、原則公開と規定されている審議会や専門部会の全面公開と審議会・専門部会委員の公正任命を求める。また、口頭での意見陳述の機会や傍聴人数を拡充すること。

最低賃金の引き上げは、低賃金労働者の生活改善だけでなく、地域経済の活性化、人手不足の解消、消費拡大にもつながります。兵庫県内で働くすべての人が、人間らしく安心して暮らせる賃金水準を実現することを求めます。

以上



兵庫県最低賃金をいまずぐ1, 700円に引き上げ、
全国一律最低賃金制度、
中小企業支援の拡充を求める要請書

兵 庫 労 働 局 長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長殿

2026年7月21日

計 2, 8 6 8 筆

取扱団体 兵庫県労働組合総連合
(国民春闘兵庫県共闘委員会)

〒650-0023

神戸市中央区栄町通3丁目6-7 大栄ビル10F

TEL078-335-3770 FAX078-335-3830



最低賃金は

めざせ

20000円

今すぐ
全国一律 17000円に

最低賃金は、最低賃金法という法律によって定められ強制力があります。2025年10月から、兵庫の最低賃金は1,116円。これを下回る賃金を定めた雇用契約書は無効です。

中小企業への 直接支援を

中小企業が最低賃金を大幅に引き上げても、健全な経営ができるよう国の支援を拡充することが急務です。例えば諸外国でも実践されている社会保険料の事業主負担の免除・減額などを国や地方自治体に求めていきましょう。

2025年地域別 最低賃金マップ

兵庫県の最低賃金
1116円



最賃の地域間格差が 一極集中招く

いま兵庫の最低賃金は1,116円。大阪は1,177円。神崎川を兵庫県側から渡るだけで、時間額が61円高くなります。東京は1,226円で兵庫とは110円もの開きがあります。これでは兵庫から大阪へ人・もの・カネが流れます。果ては東京へ一極集中し、兵庫の経済がますます停滞します。

直近の調査によれば、全国どこで生活しても生計費は大きく変わりません。兵庫県では、神戸市内で一人暮らしをする25歳青年の場合、時間額で女性は1,582円、男性は1,626円が必要です。今こそ、この最低生計費に合わせて時間額を1,700円以上へ引き上げ、全国一律最低賃金を求めましょう。

物価高騰に見合った賃金を

電気・ガスや食料品などの生活必需品の価格高騰が続いており、実質賃金は下がっています。いまこそ最低賃金を引き上げ、1日7時間働けば普通に暮らせる社会を実現しましょう。

兵庫労連(兵庫県労働組合総連合)／国民春闘兵庫県共闘委員会

〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-6-7 大栄ビル10F
TEL 078-335-3770 FAX 078-335-3830 Mail rorenhyogo@shinsai.or.jp

兵庫県の最低賃金をいますぐ1700円に引き上げ、 全国一律最低賃金制度、中小企業支援の拡充を求める要請書

2026年 月 日

兵庫労働局長 殿
兵庫地方最低賃金審議会会長 殿

請願趣旨

私たちは、7時間働けば人間らしい暮らしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年審議会は答申で、中小企業・小規模事業者が最低賃金を引き上げても円滑に企業運営を行えるように、現在の『業務改善助成金』制度をより充実させるとともに、労働者の処遇改善等を支援するその他の助成金についても、賃上げ加算等の拡充を行うことなどを厚労省の枠を超え「政府に強く要望」しています。

日本の最低賃金は2025年改定で「過去最高の引き上げ」となりました。しかし、私たちが取り組んできた最低生計費試算調査において、この間の物価高騰分を加味し再計算した結果、「単身の若者が暮らしていくのに必要な生計費は月額25万円以上・時間額1700円以上必要」に届かない低水準です。

本年の審議で、兵庫県の最低賃金を、直ちに1700円に引き上げ、地域間格差の解消に向けた決断を求めます。あわせて、地域経済の「好循環」を作り出す中小企業支援を抜本的に改善し拡充することも求めます。

請願項目

- 兵庫地方の最低賃金を直ちに1,700円に引き上げること。
- 全国一律最低賃金制度導入を上申すること。
- 最低賃金の引き上げを円滑に実施するため、中小零細企業に直接支援を継続的に行うよう上申すること。

氏 名	住 所
[Redacted Signature Area]	

※この署名用紙は、関係行政庁への要請以外の目的に個人情報を利用されることは一切ありません